



- 立科小学校／午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校／午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館／
午前 11時50分～午後 1時40分
電話 56-0303(直通)・有線 8888 (直通)
(担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

教育委員会

なんだか うれしい

友だちの匂いは 仲良しの匂い

かつての子どもたちとの出会いと、そのエピソードです。

朝、欠席連絡に3年A組の教室に顔を出した時のことでした。

入り口近くにピンク色のシャツが落ちていました。拾い上げて、近くの Yさんに

「これ 誰の？」と声をかけました。

Yさんが、すぐ手に取ってくれ、シャツを広げながら、真剣な顔で、鼻に押し付け、くんと臭いをかぎ始めました。

何をしているのかな・・・と不思議に思っていると

「これはMちゃんの」と突然大きな声をあげてくれます。

「Mさ～ん」と小声で言うと、Mさんが、うれしそうに駆け寄ってきました。

「ありがとうございます」と Mさんが一言。

怪訝な顔をしている中島に

「分かるんだよ たいがいの人の、においをかげば！」と周囲の子どもたち。

「ん？ ん？ ん？ ん？ ん？ ん？」

なんて言ったらいいのか、つながりが深いというかにおいでつながっている子どもたち。

そう言えば修学旅行帰途のバスの中で見たTVに、クレヨンしんちゃんが家族の絆を取り戻すために、お父さんの靴下の臭いを使っているというシーンがありました。



前述のように温かみのあふれる3年A組。以下は授業の様子です。

事象との出会いを大切にしながら、「(びんと急須では) どちらが たくさん水が入るでしょう」

の学習問題が提示され、授業が進められていました。一人ひとりの予想や学び方が大切にされ、活気のある授業が展開されていました。教室中央には、それぞれの考えを具体的に発表できる小さなステージも用意されています。

子どもの考えをつなげる・・・教師の語りではなく、子どもの学びを前面にすすめる・・・そんな担任先生の思いも見えました。

■一人一人に語りの場や学びの場が存分に用意された授業の充実

が垣間見えます。ここに

■子どもたちの臭いで分かるつながりの深さ・・・

も入れたいのですが、真偽のほどは分かりません。

匂いはともかく、学び合いと探究は 子どもたちの関係を豊かにしてくれているようです。